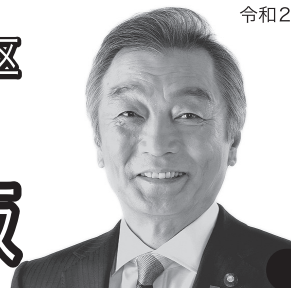




まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和2年3月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂

3月号
2020年
No.207

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

最優先は国民の命と健康を守ること!

新型コロナウイルス感染対策 躊躇せず、できることはすべてやっていく!

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がりを見せています。

安倍総理は感染拡大の懸念が始まった2月13日、拡大防止のための対策本部を設置し、次の緊急対応策を打ち出しました。

- ①感染拡大の防止に万全を期すため総額153億円の予算を組む
- ②国立感染症研究所や全国に83ある地方衛生研究所の検査体制の抜本的な強化を図る
- ③水際対策強化として、全国の検疫所等の検査体制の機能拡充や健康フォローアップセンターの体制整備に着手する

さらに、一刻も早い開発が待たれる簡易診断キット、抗ウイルス薬、ワクチン等に関し、国内外の研究開発を強力に支援することや、日本全国で品薄になっているマスクの安定供給確保に向けた措置を講ずる内容です。

また、観光業など影響が出始めた産業への対応として、迅速かつ正確な情報提供を行うとともに、日本政策金融公庫等に緊急貸付・保証枠5000億円を確保し、資金繰り支援を行うことを盛り込みました。安倍総理は「政府一丸となり、何よりも国民の命と健康を守ることが最優先。必要な対策は躊躇なく実行する」との考えを示しました。

松本純は元防災担当大臣であり、自身が薬剤師でもあることから、今回のウイルス感染への危機管理に迅速に対応、薬剤師仲間と連携し、事態の収束へ全力で取り組んでいます。特に横浜港に停泊している客船「ダイヤモンド・プリンセス」号の乗客・乗員が必要とする薬の提供では、厚生労働省が要請し、日本薬剤師会を通じて、神奈川県薬剤師会、東京都薬剤師会が中心となって対応に当たり、なお、初動においては、横浜市薬剤師会が対応しました。さらに日本病院薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会、日本医薬品卸売業連合会、日本製薬団体連合会をはじめ、松本の薬剤師仲間たちが毎日20名から25名、ボランティアで、多いときは600～700人分という薬の仕分作業、流通、供給を全力で支えています。

新型コロナウイルス感染症については、日常的な感染予防策の励行が極めて重要です。まずは、手洗いや咳エチケットなど通常の季節性インフルエンザと同様の予防策を実施し、落ち着いて行動していただくようお願いいたします。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、人混みはできるだけ避け、感染予防に御注意ください。

松本純は、国民の皆様の不安をしっかりと受け止め、感染拡大の防止に向けて、各地の自治体と連携して、今後も検査体制を大幅に強化するとともに、治療・相談体制の拡充・強化に全力を挙げてまいります。



相談窓口

厚生労働省 新型コロナウイルス対応電話相談窓口

▷厚生労働省相談窓口 0120-565653 (フリーダイヤル)
受付時間: 9時～21時 (土日・祝日も実施)
▷聴覚に障害のある方、電話での御相談が難しい方
FAX (03-3595-2756)

神奈川県 新型コロナウイルス対応専用ダイヤル

▷電話番号 045-285-0536
▷受付時間 9時00分から21時00分
(平日及び休日とも)

いま地域で
(人・まち・出来事)

ヨットの楽しさを広めたい

一般社団法人横浜ヨット協会
(通称/横浜ヨットクラブ=YYC) 理事長 阿久津壽さん(磯子区)



生粋のヨットマン、阿久津理事長

横浜開港を華やかに飾った西洋文化、その一つに「ヨットレース」があります。明治19(1886)年、横浜港を舞台に繰り広げられたわが国初のレースは当時の居留地の人々を熱狂させただけでなく、わが国に「ヨット」文化を浸透させるきっかけになりました。主催した「横浜ヨットクラブ(通称)」は以来134年間の伝統を守り、その「今」を支えるのがクラブ理事長でヨット歴50年という阿久津壽さん(70歳)です。青春時代に「若大将」加山雄三に憧れ、友人たちとお金を出し合い30歳代でヨット購入を果たしたわが国ヨット界の草分けの一人。そんな阿久津さんは「いまヨットは市民が楽しむ時代」と話します。「ヨットでしか味わえない海上に揺られる心地良さ、海との一体感は多くの人に味わってほしい」と、磯子区磯子にあるクラブ(JR根岸駅から徒歩20分)では体験型の企画を実施、人気を博しています。小学生を主な対象に、財団法人よこはまユースと共同の「体験乗船教室」、「海洋少年団の体験乗船」(これらは児童・青少年の健全育成事業も兼ねています)。社会人には授業料約1万円で、3か月間で6回ヨット体験ができる「社会人ヨット教室」も。男女、年齢を問わずハマっ子たちの貴重な海の拠点になっています。「オリンピックのセーリング競技が神奈川県で開催されますが、ヨット人気のきっかけになれば」と語る阿久津さんの素敵な笑顔が印象的でした。【問合せ先】電話045-751-1304 一般社団法人横浜ヨット協会

【2020年2月】

松本議員の活動記録

- 1日●成田山初詣金沢会
- 2日●令和元年度第2回日本薬剤師会関東ブロック協議会・懇親会
- 3日●予算委員会与党理事懇談会
●国会対策正副委員長打合せ
- 4日●役員連絡会
●国会対策委員会
●与党常任・特別委員長、筆頭理事国対打合せ
●衆参与党国対

- 5日●バイオジェン・ジャパン株式会社面談
- 6日●本会議
- 7日●国会対策委員会
- 12日●消費者庁説明
●厚生労働省説明
- 13日●与野党国対委員長会談
- 14日●総務会



2/1 永田好一氏の旭日双光章受章を祝う会●松本純代議士の横浜青年会議所時代からの親友の永田好一氏が旭日双光章を受章、お祝いに駆け付けました。氏の若き日のエピソードを紹介させていただきました。



2/9 神奈川県神輿保存会新年会●鈴木正弘会長より「歴代会長の神輿への情熱をかみしめ日本の伝統文化の伝承、地域社会の発展、若者の育成に全力を尽くします」とご挨拶がなされました。



2/11 宮元若獅子会新年会●岡本政則会長より「今年40周年、令和の新時代に若獅子会として祭礼に取り組めます」との挨拶に続き、若獅子会初代会長の永島潔さんの乾杯の発声で賑やかな新年会となりました。



2/15 商和会●異業種交流会の商和会の2月例会が「和泉屋」で開催されました。今日の話題は新型コロナウイルス感染への恐れや対策、風評被害などの話題で持ち切りでした。

永田町日記

テレビで見る松本純は、なぜ、いつも怖い顔？

いつもお叱りをいただいています。「どうしてテレビで見る松本純は、いつも怖い顔をしているんだ」「あれじゃ、マイナスイメージだよ」……。

ごもっともです。私だって笑顔を見せたい。でも、そうもいかない事情があるのです。私がテレビに登場するのは、記者の質問に森山裕自由民主党国会対策委員長が応じる「ぶらさがり取材」です。党国会対策委員長代理の私は、森山委員長の後ろに立つ姿がお馴染みだと思います。

実はあの会見、野党の厳しい追求で国会が紛糾した後、野党各党の国会対策委員長と開いた与野党国会対策委員長会談の報告なのです。国会再開のために野党の皆さんにどうご理解いただいたかを記者に伝える場ですから、誰よりも野党の皆さんが注視します。森山委員長の説明に誤りがあれば訂正するのは私の役目です。野党との対立の中、緊張感をもった真摯な姿勢が問われる会見なのです。そんな場でやはりニコニコはできません。お見苦しくて大変申し訳ありませんが、ご理解の程何卒よろしくお願い致します。(純)

